



聖城だより

石川県立加賀聖城高等学校

令和4年度第2号

・夏休み明け全校集会(9月1日)

夏休みが終わり、本日より久しぶりの登校となりました。1限目に全校集会を行い、南校長先生から、9月からも充実した学校生活を送って欲しいこと、辛いときには先生方に伝えて欲しいことについて、話がありました。その後、進路指導課の石坂先生から、進路と充実した高校生活について、また、養護教諭の山田先生から、具体的なコロナウイルス感染症対策について、丁寧な説明がありました。



・地震安全行動訓練・火災避難訓練(9月2日)

県民一斉防災訓練シェイクアウトいしかわを兼ねて、防災についての動画視聴後に、地震発生時の安全行動訓練を行いました。身を低く頭部を守りじっとしている訓練として、訓練音源発生後に、机の下で身を守る姿勢を行いました。その後、2階ディナールームを出火場所と想定した火災時避難訓練を行いました。併せて、水消火器による消火訓練も行いました。災害発生時における実践的な訓練を通して、防災意識を高めることが出来ました。



・グッドマナーキャンペーン(9月1日~6日)

加賀市女性協議会から参加協力をして頂き、1日から6日までの期間において、グッドマナーキャンペーンを実施しました。登校時の生徒との挨拶を通して規範意識や公共マナーの意識向上を目指して行いました。



薬物乱用防止教室（9月15日）

石川県薬事衛生課の中田宏信氏に来て頂き、薬物乱用防止教室を実施しました。薬物乱用・薬物依存・薬物中毒の現状について、丁寧に分かり易く説明して頂きました。若者の薬物乱用が近年増加傾向にあり、各自が危険察知する判断力が必要であることなど、防止策についても説明して頂きました。



ほっかほかタイム（9月22日）

体が整うと体が喜び元気になる。そのための栄養素として、ビタミンの話をして頂きました。特に、体内で合成できないので、食物を通してビタミンCの摂取は不可欠であることを強調して頂きました。そこで、今回のほっかほかタイムでは、根菜類に含まれるビタミンCは加熱の調理でも分解されにくいことから、カボチャとコーンのポタージュを頂きました。元気に学校生活を送りましょう。



前期終業式（9月30日）

前期期末考査が終了しましたので、学期の締めくくりとして終業式を行いました。まず、南学校長より前期を振り返り、後期も出来る限り休まずに登校して、有意義な学校生活を送って欲しいことの話があった。その後、教務課の小谷教諭から後期当初の日程について連絡があり、養護教諭の山田教諭から引き続きコロナウイルス感染症対策の徹底が必要であることの話があった。



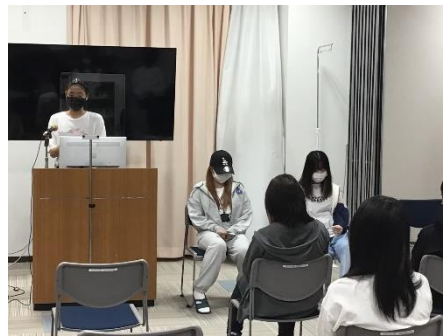
後期始業式（10月3日）

本日より後期となるので、授業開始前に始業式を行った。まず、南学校長より、後期の学校生活において、自由な発想を持って各自の課題に取り組んで欲しいとの話があった。その後、総務課の鹿野教諭から、8日の青春のこだまと漢字検定について連絡があった。また、教務課の小谷教諭から、27日の総合的な探究の時間中間発表と11月5日の旧北国街道を歩く会等の日程について連絡があった。



後期生徒会立会演説会（10月3日）

後期生徒会では、会長候補の山口さん、副会長候補の向出さんと山本さん、書記（兼会計）候補の工藤さんと山下さんが立候補しました。生徒みんなの前で決意表明を行い、候補者全員が信任されました。聖城祭などの後期生徒会活動の活性化に向けて宜しくお願いします。



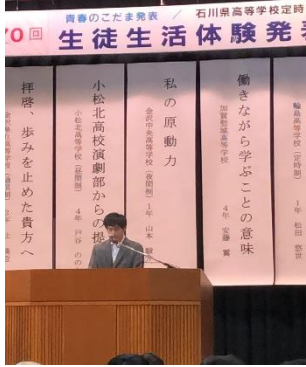
月見会（10月6日）

十三夜頃に実施している恒例の月見会を行った。元本校教諭の西谷重夫さんに、月と秋の星座観察について講話をしていただいた後、屋外で天体望遠鏡による観察を行った。雲の切れ間に月のクレーターまではっきりと見る事が出来ました。また、望遠鏡画像を iPad に転送することで、惑星状星雲や超新星爆発の残骸まで観察出来ました。なお、今年度もコロナ禍のため、おはぎ作りを行わずに、小山芳月堂のおはぎを持ち帰りました。充実した月見会となりました。



第70回石川県生活体験発表会(青春のこだま)(10月8日)

定時制通信制の各校代表9名が、金沢泉丘高校講堂で各自の思いを発表しました。本校からは、4年生の安藤翼君が「働きながら学ぶことの意味」の演題で、大勢の生徒の中で堂々と発表しました。アルバイトしながらの学校生活を通して、身に付いた社会人としての規範について話してくれました。安藤君は優良賞を受賞しました。終了後、閉会の挨拶を本校振興会の佐々木和彦会長が行いました。



「北国街道を歩く会」の開催要項説明(10月13日)

11月5日に実施する「北国街道を歩く会」について、全校生徒に対して開催説明を行いました。観光・くらしグループの生徒から当日の日程と各自の役割について、丁寧に説明してもらいました。本校から細呂木関所跡までの約8kmの行程です。保護者・地域住民と連携しながら、ふるさとの歴史や文化を学ぶ実りある行事になるように準備してきたいと思ひます。



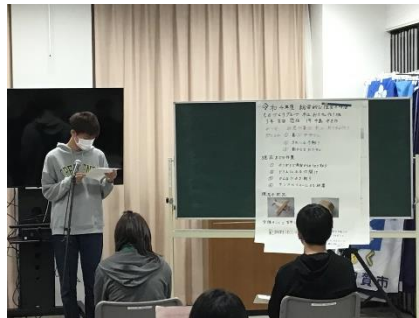
ほっかほかタイム(10月20日)

良く噛むことの大ささについて話をして頂いた。一口大のおにぎりを何回噛むかを、実際に咀嚼回数を数えてもらった。噛むほどにご飯の甘さが分ると生徒は感じたようである。そこで、今回は、大きな具沢山で良く噛んで味わえる味噌汁を用意して頂いた。



錦城山プロジェクト中間発表（10月27日）

ものづくりグループ・観光暮らしグループ・音楽グループの3グループで、4月より取り組んできた探究内容について、中間発表を行いました。発表後に、他のグループからの質問に答えることで、他のグループの探究内容も共有する機会となりました。1月26日の最終発表に向けて、さらに充実した取り組みをしましょう。



聖城祭準備（10月31日 11月1日・2日）

今年の聖城祭生徒特別企画は『ステンドグラスコンテスト』となりました。各学年ごとにデザインを決めて下書きをしました。その後、プラバンにガラス絵の具を1人1人の生徒が塗りました。乾燥後に、合わせることで1つの作品となります。生徒は、今年の聖城祭テーマである『彩』に沿って、きめ細かい作業を丁寧に行っています。完成するのが楽しみです。



聖城祭(11月4日)

第一部では、『ステンドグラスコンテスト』を行いました。ここ1週間取り組んできたステンドグラスに光をあてることで、鮮やかな彩りの作品となりました。学年ごとに作成の意図を伝えながら、ステンドグラスコンテストをしました。生徒にとって達成感ある取り組みとなりました。その後、生徒によるミニコンサートがありました。熱唱した歌声で、感動的なコンサートとなりました。

第二部では、加賀商工会議所高校生人財育成事業として行われた第4回進路セミナー「はたらくこと」トーク&ライブが行われました。新さんの中学校・高校時代の思い出や就職してから感じたことなどを話して頂きました。その上で、生徒に心温まるメッセージを伝えて頂きました。また、トークの合間に、ギターによるライブを通して、感動的な歌を歌って頂きました。

また、ふれあいホールでは、総合的な探究の時間『錦城山プロジェクト』中間発表の報告や生徒の家庭・書道・美術の作品展示をしました。

当日は、学校評議委員や保護者の方に来て頂き有り難うございます。生徒にとって、思い出深い聖城祭となりました。



北国街道を歩く会（11月5日）

加州参勤交代うおーく2019から3年間、コロナウイルス感染防止のため実施を控えていましたが、今年度、生徒からの発案で、『北国街道を歩く会』が実施出来ました。本校から福井県の細呂木関所跡までの約8kmの行程を歩きました。保護者・地域住民30名を加えて、約70名の参加で実施しました。生徒は、歩行班・給水支援班・ガイド班・炊事班とそれぞれの役割で参加しました。生徒には、ふるさと加賀市の歴史や文化を学ぶ良い機会となると共に、地域の方々と交流する貴重な体験となり、有意義な行事となりました。



皆既月食観察（11月8日）

夜間定時制高校の利点を活かして、3限目の時間帯に皆既月食観察会を行いました。理科担当の若林先生に、皆既月食が起こる理由と月食時に赤銅色の月が観察できることなど、丁寧に説明してもらいました。また、今回の皆既月食は、442年ぶりに惑星食も観察できる珍しい天体観察となりました。



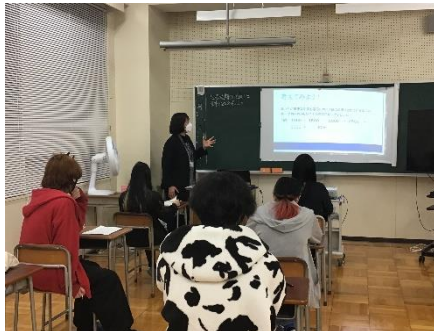
交通安全教室（11月10日）

石川県損害保険代理業協会から東川達哉さんに来て頂き、『車社会に出る高校生の君たちへ』の演題で交通安全講話をして頂いた。事故の原因・事故現場ですべき責任・自動車保険の役割等について、具体的かつ丁寧に説明して頂きました。生徒の三割が運転免許を取得済みであり、自動車に通学している生徒もあり、安全運転について再認識する良い機会となりました。



定通公開授業（11月14日）

1限目には、若林先生が地学基礎の公開授業を行った。生徒一人ひとりが放射線測定実験を行う授業であり、意欲的に取り組んでいた。2限目には、穴田先生が家庭基礎の公開授業を行った。栄養成分表を活用して、コンビニ昼食の栄養バランスを考える授業であった。グループで協力して取り組んでいた。



人権講話（11月24日）

弁護士法人金沢税務法律事務所から鹿島啓一弁護士に来て頂き、『ネットトラブル・SNSいじめについておさえおきたい6つのこと』の演題で人権講話をして頂きました。具体的な事例を挙げながら、ネット上の誹謗中傷やいじめの特徴について、丁寧に説明して頂きました。また、自分が被害に巻き込まれたらどう対処するかについても、ポイントを押さえて説明して頂きました。ネット社会にいる高校生にとって、再認識すべき内容の多い講話であった。



体験入学（12月9日）

南学校長より歓迎の挨拶、小谷教務主任より全体説明の後、サンドイッチと牛乳の補食を食べてもらいました。その後、4年生の山森さんに校舎内施設と在校生の授業の様子を丁寧に案内してもらいました。1時間15分と短時間の体験入学でしたが、本校の様子がある程度理解できたと思います。



県定通冬季バドミントン大会（12月10日）

3年ぶりに金沢中央高校で県定通冬季バドミントン大会が開催されました。本校からは、前山愛貴君（1年）・地石美里さん（2年）・山森桃華さん（4年）の3名の生徒が出場しました。3人ともに果敢に試合に挑んでいました。地石さんはベスト8の成績でした。来年度の大会に向けて、頑張ってください。



性教育講座 ひじりん講座（12月15日）

ゆたか助産院の吉田みち代助産師に来ていただいて、『助産師のないしょの話』の演題で性教育講座を行いました。この世に生まれた来た全員は尊い存在であり、生命には寿命があるので、自分だけでなく相手のためにも時間を大切にすることが重要である。このことが命に対して責任を持つことである。生命の尊さの視点から、性教育を捉え直す良い機会となりました。



・冬季スポーツ大会とPTA食育行事(12月21日)

全員で準備体操後に、前半は個人種目としてバドミントンを行いました。後半は団体種目として、ポッチャを行いました。寒い体育館での競技でしたが、みんな元気に競技に取り組みました。スポーツ大会終了後に、PTA食育行事として料理したカレーライスを美味しく頂きました。



eスポーツプレ大会(12月22日)

今年度からの新たな生徒会行事として、Wii sports Resort のボーリングを、クラスごとトーナメント形式で対戦しました。各教室の50インチの画面で、みんな楽しく盛り上がっていました。3月には全学年での決勝トーナメント形式での対戦もする予定です。昨日の冬季スポーツ大会を併せて、生徒と教職員の親睦も兼ねての大会であり、心と体のリフレッシュできる一日となりました。

